



東丘小だより

校長 河田 法士

令和6年(2024年)4月30日発行 第2号

学年	1	2	3	4	5	6	計
児童数(4/28現在)	87	98	99	114	116	89	603

ありがとう
ありがとう
や😊

『当たり前』に“当たり前”の感謝を

4月が何の制限もなかったのは5年ぶり。久しぶりに当たりの新学期を当たり前で過ごすことができました。

さて、始業式には『当たり前』という話から、校長先生が『新学期元気に見えますか?』というところで、実は3月末に救急車に運ばれた(自力で行くつもりが、深夜での病院も受け入れが難しく、結果運んでいただくことになった)という出来事について話をしました。

おかげさまで結果は一過性のもので、病院から朝の6時半に帰って来て、8時には何事もなかったかのように学校にいました。(笑)

救急車に運ばれる確率というものがあり、それはだいたい4/100らしく、100人いたら4人は救急車のお世話になるという計算です。

なんと今回、その選ばれし4人に入ってしまったのです(ノド)シクシク。当たり前だと思っていた健康が、不意にそうでなくなった瞬間はさすがに焦りました。『入学式、もしかしたら校長が不在…』とか。

例えば、空気(厳密に言えば酸素)に『ありがとう空気!』とはならず、水も当たりに水道の蛇口から出てくるものですが、時には山の空気を美味しく感じたり、夏の暑い日、喉が思いっきり渴いたとき、ジュースもいのですが飲んだ水が乾いたカラダ全体に沁みわたるような、そんな感覚を味わった経験はありませんか?

しかも、水道水については、世界196か国(日本が承認している国195+日本1)の中で、水道の水をそのまま飲める国は、アジア圏では日本の1か国のみ、ヨーロッパ圏ではオーストリア・アイスランド・アイルランド・スロベニア・デンマーク・ドイツ・フィンランド・ノルウェーの8か国で、アフリカ圏は南アフリカ共和国のたった10か国だそうです。更に、日本の水道水は質が高いとも言われています。

さて、バリバリの若者である子どもたちに“健康”の大切さを説いたとてあまりピンとくるはずもなかったのですが、単純に風邪をひいてご飯の味がないのはまったく楽しくないのはみな同じはず。

そうやって、いつもは当たり前過ぎてあまり考えることがないところに感謝を向けることができたり、例えば通学路に咲いている草花の何げない変化に気付いたり、するとなんとなく心が穏やかになれそうな…、といつも余裕のない自分にそう言い聞かせています(-_-)。

最近の報道やニュースについて思うこと



新学期早々ニュースにあった滋賀の中学校でのクラス分け騒動。神戸でも同様のニュースがあり、『とても他所ごとではないな〜』と思って内容を見ていました。

学校とはどんな場所なのでしょう?勉強するところ、運動するところ、友だちと話をするところ、本を読むところなどなど、人によって様々だと思います。

東丘でいえば、603人が603通りの性格や価値観をもち、それぞれが育ってきた環境も違うので当然合う・合わないはあったり、最初は仲が良くても、途中いろいろあって最後はもっと仲良しになるか残念ながら仲違いになるかわかりません。

例えば、一人合わない人が居て、次の年にもまた一人合わない人が出たとして、それを繰り返していくと6年目には3クラスしかない学年なら誰と一緒にいれば良いのでしょうか?

世間やネットを賑わすニュースは、どれも前後関係や背景も正確に伝えられず、ただわかりやすく切り取られた部分であることも多いと感じていますが、そこには少なからず事実があります。

近年、学校の行事や水泳の授業では、先生や子どもの声がうるさいというクレームが入ることも珍しくなくなっている中で、さらには除夜の鐘がうるさい、ついにはアンパンマンのアンパン〜チ♡が暴力的だという声も挙がっているとかいえないか…(-_-;)。主張や持論を展開するのは表現の自由上問題ないと思いますが、同時に相対的・客観的に捉えることも大切ではないかと…。

誰もが子どもや何かを守るために必死なのだと思います。しかし、必死になりすぎて、いつの間にか子どもを追い越していることも多々あります。毎日顔を合わせるのは子どもたち、そして子どもたちは毎日情報が更新されていますが、大人はそうはいきません。

たとえそれが一過性のトラブルであったとしても、大人はそこで立ち止まり、ネガティブチェックが始まり、そのままのイメージがずっと更新されずに遺恨を残すケースもたくさんみられます。よっぽど理不尽な我慢を強いられたり、あまりにも不適切な対応を受けたりした場合は大いに声をあげても良いのだと思います。

でも、『それは子どもの声ですか?本当に子どもの願いですか?』と、一体誰のために何を要求しているのかについて大人が見失うことがないようにしなければならない、校長という立場でも勿論ですが、同じ子をもつ親としてそうありたいと思っています。

私は『いろいろあって学校』と考えています。そこには、どのような状況でも対話を尽くすこと、そして常に子どもが軸であることを忘れず、『共同・協同・共働・協働』にて子どもたちの健やかなる成長の一助となるよう継続して取り組みたいと思います。



5月の行事予定



1	水	1年生との対面式		
2	木	40分授業(5限まで)※小中一貫会議のため		
3	金	憲法記念日		
4	土	みどりの日		
5	日	こどもの日		
6	月	振替休日		
7	火	心臓検診(2次) 内科検診(13:00~)		A週
8	水	委員会朝会 色覚検査(5年)		SSW
9	木	内科検診(13:00~)		
10	金	内科検診(13:00~) なかよしタイム週間(~19日) 個人懇談希望調査配布		
11	土	オープンスクール(2・3限)※11:30下校予定 林間学舎説明会(4限)		
12	日			
13	月	代休		
14	火	月曜時間割 内科検診(13:00~)		B週
15	水	見守り隊との対面式 聴力検査(3年) 40分授業(研究会)13:40下校 クラブ①		
16	木	聴力検査①(5年)		
17	金	聴力検査(2年) 個人懇談希望調査メ切		SSW
18	土			平和週間
19	日			
20	月	聴力検査(1年)		A週
21	火	眼科検診(13:30~) 色覚検査②(5年)		
22	水	行ってきます集会(6年) 地震避難訓練(2限) 3校合同引き渡し訓練(5限)SSW		
23	木	耳鼻科検診(13:10~)		
24	金			SSW
25	土			
26	日			
27	月			B週
28	火	尿検査②		
29	水	修学旅行①(6年)		
30	木	修学旅行②(6年)		
31	金	歯の巡回指導 合同あいさつ運動		

【6月の主な予定】

4日(火)校外学習(2年) 6日(木)創立記念日 7日(金)校外学習(3年)
14(金)社会見学(4年) 18(火)~19(水)林間学舎(5年)